



▲ワークショップではリノベーションへかける思いを熱く語りました

県内の中山間地域で開催されている「ひろしまとやま未来博2017」。この主要プロジェクトに地域の魅力を発信する拠点として大和町の旧和木小学校の廃校舎を改修する『廃校リノベーション』があります。このプロジェクトに参加し、大和町を元気にしようとする頑張っているのが神奈川県出身の池上智樹さんです。

平成23年の東日本大震災で被災。食料品の不足や連日の余震などで住んでいる環境に不安を感じ、妻の実家がある大和町へ移り住みました。「地

若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 14

大和町の魅力をもっと知ってほしい

和木団地自治区 区長

池上智樹さん

いけがみともき

震や台風などの自然災害が少ないので安心して生活できる」と魅力を話します。



「地元の人には当たり前のことでも全てが新鮮」な日々を送っています。

そんな暮らしの中で体感した良さを大和町の活性化につなげることができないかと考えていた池上さんのもとに届いたのが今回のプロジェクトの知らせでした。「またとないチャンス。これは面白い」と笑顔で話

します。早速、改修計画などを検討するワークショップに参加。町外からの参加者とアイデアを出し合う中で、豊かな自然環境や交通の便の良さなどを力強く訴えました。

「住んでいる僕たちが良さを語ったり、生き生きと生活している姿を見せたりできれば、大和町の魅力はきっと伝わる。このプロジェクトをきっかけに大和町に関心を持ってもらえれば」と池上さんは期待に胸を膨らませます。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

道祖神の丘の春

やまむらふみと

撮影エピソード

撮影者 山村文人さん

桜の名所として知られる塔の峰の千本桜を見た後、友人が道祖神のある丘へ案内してくれました。そこからの眺めに感動し、撮影しました。



●撮影年月 平成29年4月
●撮影場所 佐木島



写真・絵を募集しています

テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

応募資格 市内在住・在勤・在学の人
選考 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

申し込み 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6007 ③somukoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ